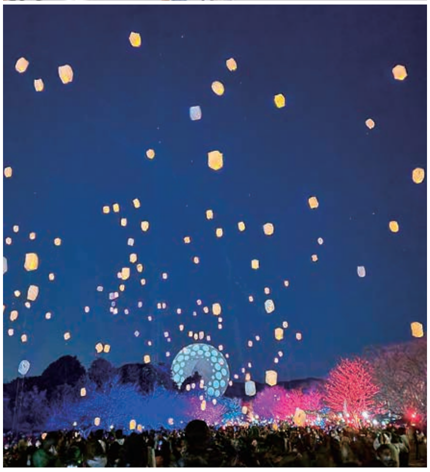

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

長く続く新型コロナウイルス感染症の影響のもと、本市では、ウイルスの特性の変化やワクチン接種の進捗を鑑み、状況に応じた施策を展開してまいりました。

また、生活・経済支援を随時予算化しながらきめ細かく、切れ目なく進めるとともに、民間事業者や各種団体等との連携によりまちの活性化に向けた事業を推進し、さらには、医療関係者との協議を通して、市内病院の医師確保を図るなど、振り返ると瞬く間に1年が過ぎ去ったような心持がいたします。

本年は、ごみ処理施設の整備が完了し、4月には環境負荷の少ない新たな施設が稼働します。本格運行となった「マイライドのるる」も多くの方にご利用いただいております。本市の課題解決に向け、市民の皆様のご理解とご協力に改めて深く感謝申し上げます。

「地域力が笑顔を育むまち高萩」の実現に向け、今後も本市の豊かな地域資源を活かし、持続可能な地域づくりを進めてまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

高萩市長
大部 勝規

2023年　我がまち 高萩

あなたにとって、我がまち、ふるさとはどこですか？
たとえ長く過ごさなくても、その時の景色、風、匂い、思い出とともによみがえるまち。
人生の歩みの中で高萩に暮らし、
その後さまざまなステージで活躍されている人たちを紹介します。

小学4年生から高校卒業までを高萩で過ごした大藤晋司さんは、テレビ北海道のアナウンサーとして活躍中。ニュース番組のほかプロ野球、スキージャンプ、バスケットなどの競技実況を担当しています。

かつての情報番組『ズームイン!!朝!』に出演し、熱い野球解説をするキャスターとして記憶している人も多いのでは。

高萩で過ごした日々

中学・高校時代の思い出の一つが、自宅で深夜に聴いた大阪のラジオ番組。「関西弁でテーマも世界観も最高。本当に楽しかった」と振り返ります。

また、高萩中の選抜チームで参加した市民駅伝大会では、目標に向かってチームが一つになり、ゴール手前での劇的な逆転優勝を体験。「この原体験と感覚、気持ちに立ち返れば、視聴者に言葉にして伝えられる」と感じたそうです。

ふるさと高萩が1位

魅力度ランキングで14年連続トップの北海道に住む大藤さんにとって「ふるさとは、魅力度で測るものではなく、自分の中で常に1位にある」と言います。

離れても高萩を応援

「放送人を志した時、茨城に帰ることはできないかもしれないと覚悟した。その分、高萩に自分の言葉を届けるつもりで働いてます」。

高萩での思い出を胸に「アナウンサーは最終アンカー。決めて当たり前」という信念を持って今日も言葉を発しています。

Profile　大藤 晋司（だいとう しんじ）

2010年～高萩大使。テレビ北海道アナウンサー。1991年中京テレビ放送（愛知）に入社。2003年テレビ北海道へ。中学時代から日本ハムファイターズの大ファン。

プレゼント（５名様）
詳しくはP20へ

大藤 晋司 著
『スポーツ実況を
100倍楽しむ方法』